

白幡小

80周年で「シェア文庫」

本通じ地域交流図る



書籍から本を取り出す児童

まちライブラリーはオフィスや住宅、カフェなどの街角に本棚を置き、メッセージ付きの本を持ち寄って交換しながら人の縁をつむいでいく活動。まちづくりの調査研究などを行う藤記念財団の藤井純充氏が開催している。

同小は10年近く読書推進活動に取り組み、授業では副教材として図書館の本を活用し、図書館の貸出総数は2013年から2年間で7千冊増えた。全国学力・

横浜国立白幡小学校「まちライブラリー」の活動が、地域の交流を図る一環として、地域交流図るというテーマで、児童や地域住民がメッセージ付きの本を持ち寄って交換しながら人の縁をつむいでいく活動。まちづくりの調査研究などを行う藤記念財団の藤井純充氏が開催している。

まちライブラリーは、読書推進活動の一環として、地域の交流を図る一環として、地域交流図るというテーマで、児童や地域住民がメッセージ付きの本を持ち寄って交換しながら人の縁をつむいでいく活動。まちづくりの調査研究などを行う藤記念財団の藤井純充氏が開催している。

同小は10年近く読書推進活動に取り組み、授業では副教材として図書館の本を活用し、図書館の貸出総数は2013年から2年間で7千冊増えた。全国学力・

平成 28 年 4 月 23 日「子ども読書の日」
に 80 周年記念事業の一環として行った
「しらはた まちライブラリー 記念集会」
がタウンニュースで紹介されました。

「まちライブラリー」を通して、児童と
まちの人のつながりを、さらに深めて
いきたいと思ひます。

まちライブラリーは、読書推進活動の一環として、地域の交流を図る一環として、地域交流図るというテーマで、児童や地域住民がメッセージ付きの本を持ち寄って交換しながら人の縁をつむいでいく活動。まちづくりの調査研究などを行う藤記念財団の藤井純充氏が開催している。

同小は10年近く読書推進活動に取り組み、授業では副教材として図書館の本を活用し、図書館の貸出総数は2013年から2年間で7千冊増えた。全国学力・